

ふれあい

平成21年 9月 第282号

大代地区コミュニティ推進協議会
〈編集部〉

事務局：大代地区公民館
☎364-8442

〈掲載目次〉

- 南区のひと夏に思う 1
- 流灯花火大会を終えて 1
- 東区の防災訓練に参加して 2
- 笑っていますか 2
- 現在の政治に思う 3
- 大代の歩み (十八) 3

- ふれあい短歌 4
- ふれあい俳句 4
- 大代五区敬老会日程 4
- グラウンドゴルフ大会
に参加しませんか 4
- 貞山運河周辺清掃のお知らせ 4

南区のひと夏に思う

大代南区长 橋本 浩

大代南区教育文化部長 斉藤 英記
南区のひと夏は七月十二日(日)のふるさと研修会から始まりました。前日まで折小雨の降る天候で心配されましたが、当日は朝から晴天のある凌ぎやすい一日でした。今回は参加者が八十名と多勢で、大型バス、中型バス各一台と八人乗り家用車(区長宅車)に分乗して午前八時三十分大代公民館前を出発、途中高速道を利用して大崎市鳴子中山平温泉郷にある仙庄館に向かいました。途中十時三十分頃からブルベリ―園でブルベリ―狩りを体験、ブルベリ―は名前とジャムは知っていても実際木からもぎ取って食べ放題は大方の人は無かったと見え、園の管理人から「なるべく黒くなつたものがおいしいです。」と言われ、スッパイ、甘いなどと言いながら頬張っておりました。それでも帰り際には三パック千円でもほとんどの方が珍しい土産が出来たと買い求められました。

仙庄館では十一時三十分より入浴、休憩をとり十二時二十分頃より昼食懇談、カラオケ等で和やかなひとときを過ごし、帰りは途中伊達な道の駅で休憩をして土産物を買って求めました。車中の往路帰路でも歌あり漫談ありで和気あいあいの雰囲気でもなく充実した研

修会であつたと思えます。

次に今年の夏祭りは八月一日で朝から祭り可能な空模様に予定通り午前十時より役員、班長さんの全員で会場づくりが進められました。午後六時よりは広場中央にセットした太鼓音とテープの音量いっぱいの広報で始められました。盆踊り、カラオケ、演芸その他お楽しみ抽選会、育成会の出店があつて参加者も例年より多く笠神、七ヶ浜方面の見物客を含め三百名を超えるにぎわいとなりました。特に今年は子供達の参加が多く楽しい納涼のひとときとなつたものと感じました。ふるさと研修会、夏祭りも年々新しい趣向が加わり充実したのを感じました。これひとえに区民皆様方の暖かく熱心なご協力のたまものと厚く感謝申し上げます。その他区内では花壇整備作業がありました。今回は割愛して次回といたします。

流灯花火大会を終えて

流灯花火大会実行委員長 三浦 徳男

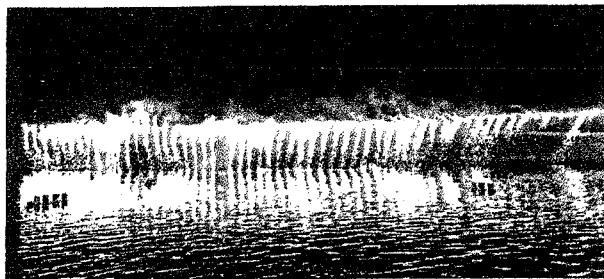
二十一年度担当区長 小野 菊郎
恒例の流灯花火大会を、関係者皆様のご協力を頂き事故もなく開催できました。厚く御礼申し上げます。

慰霊祭につきましては、水難事故者の慰霊と地区の安全を祈願して、西園寺住職により読経を頂く中、地区住民の方々

にご焼香を賜りました。
地域の平安とご家族の安泰を祈念され
た事と存じます。

今年の花火は、打ち上げを皆様に
賞賜りたく、多くの方々に花火購入資金
として格別のご協力をお寄せ頂き実施
いたしました。

この場をお借りし重ねて厚く御礼を申
し上げます。



大代地域社会が、伝統のこの行事を通
じて交流の場が広がり、住民間の連帯強
化に続くことと信じております。

尚、狭い場所での開催でもあり、付近
の方々には音、煙、ごみ、トイレ等ご迷
惑をおかけ致しましたが明治時代から、
地域先達の皆さんが継続開催してまい
りました伝統行事に免じて、なにとぞ、ご

理解を賜りますようお願い申し上げます。
主催者として、掃除、点検等には
徹底して対処してまいります。

又、開催につきましても、種々ご意見
もございしますが、大代地区の重要な文化
と捉えて頂き、今後も継続して実施でき
ますようご協力を賜りたいと存じます。

東区の防災訓練に参加して

大代東区 佐藤 松雄

七月十二日(日)東区防災訓練が実施
されました。参加人数百〇四名、消防署
から七名、休日のなか市防災課二名の方
が出席くださいました。

石が森公園に各班まとまって集結、班
長の参加人数の確認、本部への報告、三
浦町内会長より災害に対する我々住民の
心構え等の挨拶があり、藤原災害防犯会
長の先導により二列に並び整然と行進、
訓練場所のイトウストアの駐車場まで
行進した。

二班に別れ、災害で瓦礫の下敷きにな
った被害者、人を救い出す方法、とそれ
に伴い負傷者の緊急応急手当の指導を受
けたのである。署員の親切丁寧な説明や
手をとって救助方法を教えてもらう事が
できた。訓練中にも熱心な人達から質問
が多く出たのも喜ばしい事であった。こ
の訓練を経て何時起こるか予測できない
災害には常に近所の人達で連絡を密にし

て災害を最小限に防ぐ事だと実感いたし
ました。

瓦礫の下になった人形は何時も重い材
木につぶされ「大丈夫か」大きい声で呼
び掛ける、と指導を受けたが人形があま
りにもツカレハテ(ポロポロ)可哀想な
気がしました。いろいろ財政の問題も有
ろうかとは思いますが人形さんのご苦勞
を察してください。

ご指導頂きました署員の方々、お世話
になった町内の役員の方有難うございま
した。



笑っていますか

多賀城市立

多賀城東小学校 齋藤 昭雄

毎週日曜日、テレビ番組「笑点」をほ
んど欠かさず見ている。わずか三分
の「大喜利」を含むこの時間が、グラス
を側に置いての、誰にも邪魔されたくな

い、私のささやかでちつぽけな至福のひとときである。

思えば、小さい頃「泣いて暮らすも一生、笑って暮らすも一生」と聞かされた。同じ一生なら笑って暮らさなければ損だということであるが、本当に子どもの頃から、なぜか落語や漫才を見たり聞いたりするのが好きであった。特に古典落語が気に入って、茶の間に横になつては一人悦に入っていた。「落ち」や「洒落」もよく分らないのに・・・。

最近「笑いと健康学会」があると知つた。さらに「笑い療法士」という資格もあるという。相手に寄り添って笑いを引き出し、自己治癒力を高めるのだとか。結局のところ、ストレス社会の現代において、たくさん笑ってストレスを解消すれば、医者の方とマッチして快復力もアップということか。「笑いは人の薬」と言われるように健康にとても良い。免疫力が高まるとか、血液サラサラ、炎症や痛みを軽くするとか、ストレスホルモンを低下させるのでリラックスできよく眠れる・・・様々な効果は医学的にも確かめられている。また、確かカール・ルイスだったと思うがゴール間近に笑うという。すると力みが抜けてよい記録が出るのだとか。

お互い努めて笑顔や遊び心を失わず、上機嫌が至難のこのご時世に、笑いとい

う防衛解除で、「笑う門には福来たる」じゃないが、大きな「福」を得たいものである。

「昇天」する日まで。

現在の政治に想う

大代南区 針生 吉治

最近各大臣が外国に行き、その国にお金を支援する事を約束して帰ってくるのを必ずと言っていいほど報道で目にし耳にする。いったい何を考えているのだろうか。

貧しい国に支援する事は大変良い事だと私は思う、しかし我が国では年間三万人自殺者がいて職を失い困っている人も沢山いる。

自国を顧みず国民の税金で支援を約束して来る大臣を見て私は何を考えているのかと腹立たしくなる。自国を大切にしたい。職を失い家族共々路頭に迷うような政治であつてほしくないと強く思う毎日である。悩み苦しんでいる人たちを何とかするのが政治家の務めである。この不況の中で協力しあい一日も早い豊かな生活になるよう願っている。

雇用対策や少子化対策、子育て支援など国内には大きな問題が沢山ある。外国への援助を考える前にそちらにお金を使つてほしい。私の考えは間違っているだろうか。

大代の歩み (十八)

大代南区 渡邊 巖

二、塩竈と貞享二年令

元々、宮城郡の漁村には「御日肴役」が課され、近海と遠島の魚場で漁獲した魚を満載した船は、貞享二年令以前には宮城郡の『大代・湊浜・松が浜・菖蒲田・花淵・吉田・代ヶ崎・東宮・塩竈』と、『蒲生』の何れにも勝手次第に乗り入れて魚を水揚げし、そこから馬に載せ換えて仙台へ運び、肴町などの城下の五十集(イサバ)の仲間通じて、藩主を始め仙台城下に魚を供給する大事な役割を担っていたが、『塩竈風土記』によれば

寛文一〇(一六七〇)年に蒲生に川筋(御船入堀)が造られて多くの船がそこに廻るようになり、港(水産物、材木の売買)以外に(山野・田畑が少なく)これといった産業の無い塩竈は衰微したという。この様な実情を藩は見越せず、塩竈の繁栄と共に、仙台城下へ供給される魚類や木材流通の統制を図る目的で貞享二年令を発したものである。

三、遠島・八ヶ浜(大代と七ヶ浜)訴え
ところが貞享二年令によつて、漁船のみならず七ヶ浜のイサバ商人船や大代・蒲生の『沖買』の手船も入津が塩竈に限られた為、風向や天気或いは潮流によつては塩竈への入津が困難となり、時間の経過で魚の鮮度が落ちて漁民・商人が

困窮するという不都合が起きた。

そこで貞享二年令から五年後の元禄三
(一六九〇)年、塩竈以外の宮城郡八ヶ
浜(前記)と遠島の漁民から藩に対し、
『貞享二年令以前のとおり入津地を勝手
次第にして欲しい』と訴えが出された。
藩側はこれに対し、漁船・商人船につ
いては三月一日から八月晦日までの暑い
季節に限り勝手入津と水揚げを許可した
が、条件の不備で再び紛争が生じたので
ある。

続く

ふれあい短歌

大代西区 藤田 遊子

戦国の 天下分け目の 関ヶ原

東軍勝ちたる 敬老の日

禿げ白髪 敬老会に 集ひたる

一家を支へし 姿尊き

玉音を 聞きたる少年 早老いて

突然届く 敬老案内

故郷の 貞山運河に 漁れる

退役兵の 敬老の日

祝ひ金 もらって喜ぶ 孫見れば

苦勞一転 喜びとなり

ふれあい俳句

大代西区 松浦 富男

置去りの 様に孫寝る 夏座敷

山刀伐や 出羽へ崩れる 雲の峰

十葉の 仄明るきに 杖を引く

ふれあい俳句

大代西区 松浦 富男

草引くや 草の力に 負ける齡

子離れと いう難きもの 火取

笠神西区 本郷 勝子

明かり消し 遠い思い 出月見草

幼子の 胸にかかえし 月見草

山頂の 奇岩に 乗りて 雲の峰

旅の宿 沢音耳に 月明かり

雨上がり ざるに 山盛り 花茗荷

八 幡 森 季子

みちのくの 梅雨明けぬまま 秋に入る

老杉の どのあたりより 蟬の声

黒揚羽 花から花へ 原爆忌

だしぬけに 里帰りやら 揚羽蝶

蟬しぐれ 聞き入る 加瀬の 石佛

大代五区敬老会日程

大代北区

日時 九月十三日(日)

会場 大代北集会所

大代南区

日時 九月十九日(土)

会場 大代地区公民館

大代東・中・西区合同

日時 九月二十日(日)

会場 小野屋ホテル

※詳しくは各行政区までお問い合わせください。

グラウンドゴルフ大会に

参加しませんか

コミュニティ体育部

大代地区コミュニティ推進協議会主催
によるグラウンドゴルフ大会を十月三日
(土) 東部緑地公園にて開催します。
地区内の多数の参加願っております。

期 日 十月三日(土)

場 所 東部緑地公園

(あずまや付近)

時 間 九時集合 九時三十分開始

参加費 三百円

申込期日 九月十九日(土) 締切

申込先 大代地区公民館まで参加費
を添えて申し込みください。

貞山運河周辺清掃のお知らせ

コミュニティ環境美化部

日時/十月四日(日)

午前六時から(一時間程度)

集合同所/大代地区公民館

雨天の場合は中止(小雨決行)

手袋を持参して下さい。

ゴミ拾い用のゴミ袋として、レジ袋を
一人二枚持参してください。

大代地区の皆様のご協力をお願いします。